

## 契 約 書

広島大学長 竹山晴夫（以下Aという。）とインド人 パールマ、ラム・クマール（以下Bという。）とは、次のとおり合意する。

第1条 Aは、Bを広島大学核融合理論研究センターの外国人特別招へい教授として昭和55年4月3日から昭和55年9月30日まで招へいする。

2 Aは、Bに前項の招へい期間中広島大学客員教授の称号を授与する。

第2条 Bは、AとBが協議して定めるところにより、広島大学の核融合理論研究センターにおいて核融合理論に関する教育、研究指導その他の諸活動に従事するものとする。

2 Aは、Bに対し、大学の施設、図書、設備の利用等に関する便宜を図るとともに、予算の範囲内で必要な教育研究経費を負担するものとする。

3 Bは、Aと協議のうえ、他大学等において、教育研究に関する諸活動を行うことができるものとする。

第3条 Aは、Bに対し、給与として月額557,000円を支払うものとする。ただし、第1条の招へい期間の始期又は終期が月の初日又は末日でない場合における当該月の給与は、その月の始期からの勤務日数又は終期までの勤務日数に応じて、日割計算により支払うものとする。

2 給与は、毎月17日（その日が日曜日又は休日に当たるときは、その前日とする。）にその全額を支払うものとする。ただし、前項ただし書に該当する場合におけるその月の給与は、Aが別に定める日に支払うものとする。

第4条 Aは、Bに調度、電気、ガス、水道等の設備された住居を提供する。これに対し、Bは、別に定める使用料を支払う。

2 前項の住居における電気、ガス、水道の費用は、Bの負担とする。

第5条 Aは、Bに対し、別に定めるところにより、赴任及び帰国のための旅費を支給する。この場合、帰国のための旅費については、招へい期間満了後3月以内に本邦を出発するときに支給するものとする。

なお、扶養親族に係る旅費については、配偶者及び子（幼児、その他の随伴が特に必要であるとAが認めた者）に限り支給するものとする。

第6条 以上のほか、Bの勤務条件等に関して必要な事項については、日本人教員の例に準じ、

AとBが協議して定めるものとする。

昭和55年4月15日

広島大学長 竹山 晴 夫



インド人

Ram Kumar Varma

広島大学客員教授選考報告書

核融合理論研究センター

職名	専任併任の別	担当学科目 または講座	毎週授業 時数	発令(予定) 年 月 日	学位称号	国籍	性別	(ふりがな) 氏 名 生 年 月 日
外国人 特別招へい 教授		核融合理論 研究センター		昭 5 5. 4. 3	理学士 理学修士 理学博士	インド	男	ラム クマール ヴアルマ Ram Kumar VARMA 昭和 1 0 年 3 月 3 1 日生

学歴・資格ならびに職歴

年 月 日	事 項
昭和 2 8. 7. 1 0	アグラ大学理学部卒業
3 1. 1 2. 1 5	ラクナウ大学大学院修士課程修了
3 1. 8. 1	インド、ボンベイ、タタ基礎研究所研究員
3 6. 9. 1 0	アメリカ、カリフォルニア大学サンディエゴ校研究員
4 0. 8. 1 5	理学博士(カリフォルニア大学)
4 0. 1 0. 1	アメリカ、航空宇宙局ラングレイ研究センター研究員
4 1. 1 1. 2 2	インド、ボンベイ、タタ基礎研究所研究員
4 3. 7. 4	インド、アーメダバッド、物理学研究所研究員
4 4. 1 0. 2 8	アメリカ、テキサス大学プラズマ物理センター研究員
4 5. 8. 1	インド、アーメダバッド、物理学研究所助教授
5 0. 8. 1	インド、アーメダバッド、物理学研究所教授(理論物理部長)
5 5. 4. 3	文部省外国人特別招へい教授(広島大学核融合理論研究センター)

学界ならびに社会における活動

論 文

1. Bhadra Dillip and Varma R.K.: Collisional Damping of Ion Waves in a Plasma, Phys. Fluids 7, (1964), 1091.
2. Rosenbluth M.N. and Varma R.K.: Approximate Equations for Plasmas in Mirror Machines, Nucl. Fusion 7, (1967), 33.
3. Varma R.K.: Flute Instability in Mirror Machines at Very Low Densities, Nucl. Fusion 7, (1967), 57.
4. Varma R.K.: Wave Mechanical Model for the Nonadiabatic Loss of Particles from Magnetic Mirror Traps, Phys. Rev. Lett. 26, (1971), 417.
5. Varma R.K. and Horton W. Jr.: Electromagnetic Stability Theory of Tokamaks from Two Component Fluid Equations, Phys. Fluids 15 (1972), 620.
6. Varma R.K., R. White et al.: Absolute Parametric Instabilities in Inhomogeneous Plasmas, Nuclear Fusion 14 (1974), 45.
7. Nagesha Rao N. and Varma Ram K.: Ion-Acoustic Solitary Waves in Density and Temperature Gradients, Pramana 10 (1978), 247.
8. Varma R.K.: Deterministic Model Equations of Motion for Quantum Mechanics and Some New Modes of Quantum Behaviour, Pramana 10 (1978), 89.
9. Varma R.K.: On Alfvén's Critical Velocity for the Interaction of a Neutral Gas with a Moving Magnetized Plasma, Astrophys. and Space Sci., 55 (1978) 113.